

アルゼンチンを知るための54章

著者：アルベルト松本

ISBN4-7503-2185-0 396頁 定価：本体2,000円＋税 明石書店 <http://www.akashi.co.jp/>



J. Alberto Matsumoto
ファンアルベルト松本



購入できるサイト その他、地元の書店で注文又は購入可能
<http://www.akashi.co.jp/> Tel: 03-5818-1171 Fax: 03-5818-1174 振替 00100-7-24505
(株)明石書店 〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5
サイトでの購入: <http://www.bk1.co.jp/> <http://www.7andy.jp/books/>

「アルゼンチンを知るための54章」 目次

まえがき

第1部 アルゼンチンの歴史の主な出来事

第1章：ルーツと先住民 — スペインとの独立開始まで (18)、**第2章**：独立戦争 — 泥沼化した独立戦争 (24)、**第3章**：対外債務問題のはじまり — 首都と地方の対立 (30)、**第4章**：ロサスの強権政治 — パンパの精神と伝説の反映 (34)、**第5章**：アルゼンチンの「明治維新」？ — ミトレ、サルミエント、アベジャネーダ政権の功績と事件 (40)、**第6章**：「南米のパリ」 — 二〇世紀初頭のブエノスアイレス (46)、**第7章**： gaucho — アルゼンチンを代表するアイデンティティ (53)、**第8章**：中産階級の誕生 — 経済格差の広がる首都と地方 (58)、**第9章**：ペロン大佐の登場 — 激動する国内外情勢 (63)、**第10章**：功績と遺産 — ペロン政権の一〇年 (68)、**第11章**：エビータ — 伝説と政治的存在 (78)、**第12章**：繰り返される政権交代 — 二七年間の軍政・民政権時代 (83)、**第13章**：不安定な政情 — ゲリラの登場、ペロンの再登場と最後の軍政権 (88)、**第14章**：「失われた10年」 — 一九八〇年代の経済政策 (93)、**第15章**：九〇年代の栄光と影 — 一ペソ＝一米ドルの固定相場制を導入 (98)

第2部 アルゼンチンの文化と社会

第16章：「ピベサ」 — 民族的ずる賢さというアルゼンチン気質 (106)、**第17章**：「ルンファルド」 — アルゼンチン特有の用語 (112)、**第18章**：タンゴ — 官能と癒し (117)、**第19章**：牛肉中心の食卓 — 世界有数の牛肉生産国 (123)、**第20章**：ワイン — 高い世界的評価 (128)、**第21章**：マテ茶のぬくもり — アルゼンチンを代表する国民的飲み物 (133)、**第22章**：サッカー文化と情熱 — 競技場はファンの「戦場」 (138)、**第23章**：ブラックユーモアのお笑い芸人 — 厳しい世情を笑いで斬る (146)、**第24章**：民族の祭り — 先住民の神秘的要素とカトリックの融合 (151)、**第25章**：教育制度の課題と展望 — 経済・社会危機を招いた要因 (158)、**第26章**：大学教育の現状 — 卒業できるのは二割弱、卒業しても就職できない (165)、**第27章**：大卒の就職難と海外「永久留学」 — 弁護士資格を持つ多くのタクシー運転手 (171)、**第28章**：家族政策とカトリック — 同棲、離婚、妊娠中絶合法化の議論 (176)、**第29章**：複雑な医療制度 — 人口の半分は無料で治療 (183)、**第30章**：貧困問題 — 歪む社会構造 (190)、**第31章**：治安悪化の要素と影響 — 最大の要因は貧困問題、(202)、**第32章**：警察と司法の脆さ — 悪名高いブエノスアイレス州警察 (209)、**第33章**：記録的な失業率と失業者の実態 — 最大の打撃を受けた建設・サービス部門 (222)、**第34章**：「ブラック労働」 — インフォーマルな雇用創出阻害要因 (227)、**第35章**：開き直った脱税 — 「優れ」た「節税」の智恵 (232)、**第36章**：税収と財政の「バランス」 — 法人に偏る税収 (239)

第3部：アルゼンチンの政治と経済

第37章：議会と議員 — 中南米で第2位「政党汚職率」 (246)、**第38章**：大統領という「天下人」 — いまだに不安定な政治システム (253)、**第39章**：地方有力政治家「カウディージョ」の力 — 「ファミリー」で権力基盤を固め地域全体を支配 (260)、**第40章**：不健全な民主主義 — 利益を求めて誕生した無数の政党 (265)、**第41章**：軍と軍部の政治的役割 — 政治は軍を利用し軍は政治を利用する (271)、**第42章**：「五月広場」 — 軍事政権と人権抑圧問題 (277)、**第43章**：輸入代替制度の失敗 — 息詰まる国内産業優遇政策 (282)、**第44章**：リスクの高い投資先 — ビジネス環境の再構築が急務 (288)、**第45章**：メルコスール — ブラジルとの貿易摩擦が最大の課題 (293)、**第46章**：払えない債務 — 長年の失政と無責任体制の「積み重ね」 (301)、**第47章**：南米諸国との関係 — 大きな外交課題の国境線未確定問題は解決 (309)、**第48章**：マルビーナス戦争の政治的教訓 — 戦後発の西側陣営同士の武力衝突 (317)、**第49章**：マルビーナス戦争を戦った兵士の試練 — プロ兵士とノンプロ兵士の戦い (323)

第4部：アルゼンチンと日本

第50章：移民社会のなかの日系人移民 — 勤勉さと正直さ、誠実な対応で好評 (330)、**第51章**：戦後の日系人社会 — 制度化された入植事業 (336)、**第52章**：戦前の両国関係 — 一八八六年日本人移民第一号が入国 (343)、**第53章**：戦後の両国関係 — 拡大する民間交流 (348)、**第54章**：アルゼンチンに触れよう — 日本で楽しめる情報案内 (354)、**コラム1**：ペロンとペロニズムに対する評価と視点 (75)、**コラム2**：貧困の諸相 (196)、**コラム3**：青少年犯罪の状況 (214)、**コラム4**：混迷する社会 (216)、**コラム5**：偏在する労働環境 (220)、**コラム6**：中小企業の輸出努力と期待 (300)

あとがき